

授業コード	3108702
授業科目名	初級ミクロ経済学 (B)(集中)
担当者名	佐々木周作 (ササキ シュウサク)
単位数	2
開講期別	2017年度 前期～後期
曜日・時限	前期 (集中講義)、後期 (集中講義)
特記事項	
オフィスアワー	授業終了後、1時間程度。
授業内容	<p>法学部の皆さんが経済学を学ぶ意義は、どこにあるのでしょうか？その意義は次の一点にあるだろう、と私は考えています。それは、「政策や法律が、わたしたち市民や会社などの団体に対してどのような影響を与えるかを推測したり、評価したりするための技術を学べる」という点です。</p> <p>この講義では、例えば、「消費税が上がると、教科書が現在よりも300円高くなったら、大学生の行動はどう変わるだろうか？」「最低賃金が上がると、コンビニエンス・ストアの時給が100円高くなったら、大学生でアルバイトをしたい人の行動はどう変わるだろうか？」といったことを、筋道立てて、推論できるようになることを目指します。</p> <p>この講義のトレーニングを積むことで、新聞やテレビのニュースに触れた時にも、「何だか難しそうだ」「よくわからない」といった状態から脱して、「少なくとも、〇〇の影響があるということは言える」のように、多くの人が妥当だと思える意見を自分でつくる能力が身につくはず。その能力は、皆さんが大学を卒業して社会に出て、周囲の人たちと協力しながら働く際に役立つものだと思います。</p>
到達目標	<p>(1) 科目における到達目標</p> <ul style="list-style-type: none"> 「なぜA (炭酸飲料) ではなく、B (缶コーヒー) を買ったのか？」のような個人や団体の様々な選択を、加算 (+)・減算 (-)・不等号を使って簡潔に整理できるようになること。 政策や法律、景気の変化などのショックが社会におよぼす影響を、需要曲線や供給曲線を使って図示し、その意味を文章で説明できるようになること。 <p>(2) カリキュラム・マップにおける到達目標</p> <p>F. 多様な視点から物事を捉える能力を涵養するために、国際的な知識を身につけ、法学・政治学に隣接する学問の知識や理論を修得する。</p> <p>(3) この授業で習得・向上できる社会で役立つ能力</p> <p>⑤情報を整理し分析する力</p> <p>⑦問題を解決する力</p>
授業方法	<ul style="list-style-type: none"> 集中講義 (3限×5日間) による講義形式。 進行には、パワーポイント・スライドと黒板・ホワイトボードの両方を使います。 パワーポイント・スライドなど、紙資料の配付はしませんが電子ファイルを共有します。 講義内容を理解を深めるため、簡単な経済実験を行うことがあります。 講義中にコメントを求めることがあります。 他の受講生とディスカッションをする時間を設けることがあります。 受講にあたって、本講義用のノートを一冊用意してください。そのノートが期末試験の味方になります。 教科書は薄くて軽いので、必ず毎回持参してください。教科書にどれだけメモを書きこんで、どれだけポロポロにできるかが、あなたに求められることです。
準備学習	<ul style="list-style-type: none"> 予習よりは、復習に力を入れましょう。復習に必要な時間は、1日あたり1時間程度です。 特に、講義で扱った教科書の章・節を音読することは、頭が整理されるので個人的にオススメです。 講義外で教科書を読むことが苦手な人は、「参考書・資料」として紹介している〈一般向けコラム〉を読んでみましょう。経済学を勉強したことのない人向けの文章として書かれています。
履修条件	特になし。
成績評価	<p>この授業の成績は、出席・試験の2項目から決定されます：</p> <p><出席 (20%)></p> <ul style="list-style-type: none"> 1~4日目にMyKonanを通じて小テストを実施します。5点×4日間=20点。 <p><試験 (80%)></p>

	<ul style="list-style-type: none"> ● 5日目の最終コマに、筆記形式の試験を実施します。 ● 教科書・参考書・ノート・メモなど紙媒体の参考資料の持込みを「可」とします。
欠席基準	成績評価が「欠席」となるのは、5日目の最終試験を受験しなかった時のみとします。
授業構成	<p>1日目（1.5時間×3コマ） 私たちは、何をどのように考えて、意思決定しているか？</p> <p>2日目（1.5時間×3コマ） 需要曲線／供給曲線を描こう！</p> <p>3日目（1.5時間×3コマ） 政策分析 パート①（完全競争市場）</p> <p>4日目（1.5時間×3コマ） 政策分析 パート②（不完全競争市場）</p> <p>5日目（1.5時間×3コマ） 政策効果の測り方、最終試験</p> <p>※主として、教科書『ミクロ経済学の第一歩』の1~182頁を講義範囲とする。ただし、講義範囲は、受講者の理解度に合わせて適宜調整する。</p>
教科書	安藤至大 『ミクロ経済学の第一歩』 有斐閣、2013年
参考書・資料	<p><準教科書></p> <ul style="list-style-type: none"> ● ポール・クルーグマン, ロビン・ウェルス 『ミクロ経済学』 東洋経済新報社, 2007年 <p><一般向けコラム></p> <ul style="list-style-type: none"> ● 大竹文雄 『大竹文雄の経済脳を鍛える』 ホームページ https://www.jcer.or.jp/column/otake/index371.html <p>※購入の必要はない。適宜、電子配布する。</p>
授業関連事項	
担当者から一言	<p>人生で初めて「ミクロ経済学」の講義を受けてから、早12年ほどの年月が流れました。「経済学って面白いな」「経済学って社会の役に立ちそうだな」と私が思え始めたのは、じつは最近のことです。</p> <p>その間、いろいろな先生方がいろいろな工夫で講義される「ミクロ経済学」を受けてきました。この講義ではその学びを結集させて、皆さんが面白い・学びたいと思える内容にしたいと思います。一緒に頑張りましょう！</p>
その他	講義中の私語および食事は禁止です。また、携帯電話はマナーモードに設定しておいてください。こちらの注意後も態度が改善されない場合は、真面目に受講している学生の迷惑になるので、退室を命じることがあります。また、成績評価に反映させる可能性もあります。
ホームページタイトル	
URL	